

2022年10月

茨城学習センターだより 第81号

ふむふむ

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)
TEL: 029-228-0683 FAX: 029-228-0685

もくじ

巻頭言	1
学位記授与式	2
卒業生からのメッセージ	3
名誉学生表彰	3
学習奨励賞	4
入学者の集い・茨城学友同窓会	5
システム WAKABA 利用方法	6
Pickupゼミ	7
教員学生・ライブラリー講演会	8～9
事務室からのお知らせ	10～11
スケジュール	12

研究と実践とささやかな目標

茨城学習センター客員教授
茨城キリスト教大学文学部教授

堀口 悟



「香道」は茶道や華道と同様 500 年以上の歴史を持ち、日本独特の重要な文化なのに、あまり世間に知られていないようです。また、江戸時代まで盛んに実践された奥深い文化なので文献も多数残っているのですが、研究もあまり盛んだとは言えません。そこで、放送大学のゼミで受講生の皆様とご一緒に、香道の研究を深めようとしています。

昨年度までのゼミでは、室町時代の香道の姿を伝える『香道秘伝書』、次いで江戸時代初期の『香道明鑑』を読んできましたので、今のゼミでは、江戸時代後期の『香道真伝』を読み進めています。この本の名前は、香道界では有名なのですが、まだ公刊された活字本(=翻刻本)・訳注本や研究書が一冊もない状況です。ゼミの学生さん達と未知の世界の開拓に挑んでいるところです。

茨城県北における香道の普及も、現在の私の目標です。水戸生まれ水戸育ちの私は、水戸(あるいは水戸藩を中心とする茨城県)の歴史が県外で余り良い印象でなく、偏った理解をされていることに悲しい思いをしています。そこで、香道を通して、水戸の文化の高さを示したいと思い、実践的には自宅で一昨年からは香道教室を開き、学術的には、例えば先日のライブラリー講演会で「水戸の香道」と題して、水戸藩には、初代藩主から幕末まで、雅な香道の文化が続いていたことを講演させて頂きました(下の写真はその時のものです)。

なお、11月5日(土)・6日(日)の面接授業では、香道が起こる前の香り文化(=薫物文化)に焦点を当て、平安朝物語(代表的には『源氏物語』など)に現れた香り文化に注目しつつ、実際に当時の薫物の香りも体験して頂きながら、「王朝文学と香り」と題して講義させて頂く予定です。



ご卒業 おめでとうございます



生活と福祉コース	6名
心理と教育コース	8名
社会と産業コース	2名
人間と文化コース	7名
情報コース	1名
自然と環境コース	2名
<hr/>	
合計	26名

10月2日(日)午前11時より、2022年度第1学期卒業生に対する「学位記授与式」が、茨城学習センターにおいて挙行されました。学位記授与、小野寺淳所長の式辞、堀口悟客員教授の祝辞に続き、学位記授与者代表の服部紳二様から謝辞が述べられ、26名の学部生が卒業となりました。

ご卒業に至るまでに幾多の困難を克服し、卒業の栄に浴されたことに、心からお祝い申し上げます。皆様のますますのご発展とご活躍をお祈りいたします。

謝辞

服部 紳二 心理と教育コース卒業

本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を開催いただき、誠にありがとうございます。また、ご出席を賜りました来賓の皆様、教職員の皆様、並びに関係者の皆様に、心より感謝致します。新型コロナウイルス感染拡大により、この2年ほどの間、学習センターで皆様と顔を合わせて学習する機会も減ってしまいました。

放送授業のインターネット配信やオンライン授業などにより、学習の時間的な制約は少なくなりましたが、それでも学習の時間をつくり、学習を続けることは容易ではありません。卒業を迎えた皆様は、それぞれの環境の中で、コツコツと学習を続け単位認定試験をクリアし、困難を乗り越えて卒業を迎えたことと思います。

仕事に必要な知識の習得は、大学の授業だけでは足りませんが、大学で学習することで自ら情報を収集し、考え、課題に取り組む力をつけることが出来たのではないかと思います。

卒業は一つの区切りではありますが、知識を得ることに喜びを感じ、これからも学びを続けて行きたいと思います。

最後になりますが、ご指導いただいた先生方、様々な困難を乗り越えて共に学習してきた皆様、支えてくれた家族、そして、様々な感染防止対策を施し、学習センターでの面接授業など、学習環境を提供していただいた職員の皆様には、改めて深く感謝致します。

放送大学茨城学習センターの益々の発展と、皆様の一層の活躍を祈念して、謝辞とさせていただきます。

卒業生からのメッセージ

看護専門以外の学びもと思い、6年前入学しました。放送大学の先輩や学習センターの先生にご指導戴きながら多くのことを学ぶことができました。特に面接授業の先生方の御講義が素晴らしく、一語一句興味深くお聞きし学ぶ喜びを味わわせて戴きました。良き友にも出会え楽しく充実した学生生活を送ることができました。無事卒業できたことに深く感謝致しております。

伊藤 きよみ 心理と教育コース卒業

大学卒業を夢見て何十年も足踏みしていましたが、入学してみると、面接授業は先生方が魅力的で授業内容も興味深く、放送授業は好きな時間に繰り返し視聴でき、学習しやすかったです。一緒に勉強する方は年齢層の高い方が多いものの、とても熱心で、その姿に参加のたびに勇気づけられました。放送大学の学習プログラム、講師、学習センター、仲間は素晴らしく、楽しく卒業まで辿り着き、長年抱いた夢を叶えることができました。

川村 順子 生活と福祉コース卒業

3年次編入して、約3年半で卒業することができました。他の通信制大学では挫折してしまった私でしたが、今回卒業できることになり、すごく嬉しい。自分のペースで勉強ができ、仕事や家庭の両立も頑張ることができたと思います。学んだ事をこれからの生活や仕事に活かしていければと思います。

小坏 久美 生活と福祉コース卒業

仕事と両立しながら勉強をしていくことが私にできるのかと不安がある中で入学しましたが、無事に卒業することができ嬉しく思います。これまで学んできた知識を活かし、より良い看護を提供していきたいと思っています。学びの場を与えて下さった方々に感謝いたします。

仲程 明日香 生活と福祉コース卒業

二度目の卒業式を迎えました。最初の挑戦は「情報コース」卒業でした。次にどの分野でこの知識を生かそうか思案の末「社会と産業コース」を選択しました。少し時間が掛かりましたが今回無事卒業する運びとなりました。今後も更なる知識の向上とその実践に努めたいと思っています。

村上 健治 社会と産業コース卒業

名誉学生表彰

放送大学では、教養学部全コース(又は専攻)を卒業した全科履修生の方で、人物、学習態度が良好で特に優秀な学業成績を修めたと認められる学生に対し、「放送大学名誉学生」の称号をお贈りし、表彰状及び副賞の授与を行っております。この度、茨城学習センターでは、服部紳二様が全6コースを終えられ、名誉学生の称号を付与されました。その栄光と喜びを称え、心よりお祝い申し上げます。

『卒業にあたって』

職場の先輩から紹介され2005年に入学してから17年半、今回の卒業をもって教養学部全コースコンプリートとなります。また、還暦を迎え今年度末(2023年3月)をもって定年退職となります。

最初の卒業までは、必修科目や苦手な数学系に苦勞したこともありましたが、一つのコースを卒業できたことで、これまで興味がなかった分野も勉強してみたいと思い別コースに再入学、仕事に関係する情報コースが新設されたため続けて再入学を重ね、全コース制覇が見えてきました。興味のある授業だけでは卒業できませんが、幅広く勉強することができました。また、神峰、筑波、八溝の学習奨励賞も励みになりました。

放送大学の先輩方は「生涯学習」を実践されており、60歳からでも20年、30年と学ぶ時間があります。2つの卒業(退職)を迎え、これまでとは違った時間の使い方や経験を重ねながら、「学び」を続けたいと思います。

●卒業コース…自然と環境コース、人間と文化コース、社会と産業コース、情報コース、生活と福祉コース、心理と教育コース



服部 紳二

学習奨励賞表彰



10月2日(日)午前、茨城学習センターにて学習奨励賞の表彰式が行われました。

表彰は、学部または大学院の3コース(プログラム)以上を卒業・修了された方を対象に、卒業・修了されたコース・プログラム数に応じて、茨城の山々の標高にちなみ、『八溝賞』『筑波賞』『神峰賞』の愛称名を付しています。

この度、茨城学習センターでは、2021年度第2学期卒業生8名、2022年度第1学期卒業生3名の計11名の方々が受賞されました。

生涯学ぶ姿勢を貫き、放送大学を卒業されても他のコースに入学され、更にそのコースも卒業されて、数多くのコースを卒業された方々へ、その学習への高い志と絶えまぬ努力に敬意を示し称えるとともに、これからもますますご活躍されることを祈念いたします。

**卒業コース(専攻)数または修了プログラム数が
3, 4, 5回に達した学生を表彰いたします**

筑波賞

大川 侑希子さん 高木 紀子さん

神峰賞

石川 慎二さん 河本 紀久雄さん 工藤 恵子さん
鯉淵 登さん 茂永 順子さん 鈴木 純栄さん
須藤 尚美さん 丹 協子さん 渡邊 喜久枝さん

※八溝賞：(卒業または修了回数)5回以上、筑波賞：4回、神峰賞：3回



高木 紀子
(情報コース)

好奇心に従って

「大学の卒業証書を、何枚お持ちですか。」と尋ねられたら、大抵の人は怪訝な顔をするでしょう。そうではない大学が、私の知る限りでは一校あります。それが放送大学です。再入学を繰り返す理由は何か。私の場合は「好奇心に従って、続けています。」この一言に尽きます。実生活の中には、不思議に思う事・知らなかった事・気付かなかった事等が、沢山あります。じっくり時間を掛けて、多方面から、全国各地の学習センターでの面接授業を通じて、数多くの先生方から指導を受けつつ、答えを探していたら、長い時間が過ぎていました。未熟故、答えに辿り着けません。これから先も、放送大学茨城学習センター所属を続けていきます。未永くよろしく願います。

●卒業コース(専攻)…人間の探求専攻、生活と福祉専攻、社会と産業コース、自然と環境コース

ご入学 おめでとう ございます

10月2日(日)午後、茨城学習センターにて「入学者の集い」が執り行われました。今年度は、対面とオンラインのハイブリッド型による開催となり、小野寺淳所長の式辞に続き、矢野正義学友同窓会会長の来賓祝辞、田中未来様より新入生代表挨拶がありました。学友同窓会による「祝賀茶話会」は残念ながら中止になりましたが、2022年度第2学期は、学部学生268名、大学院生17名の、併せて285名の方々が茨城学習センター所属学生として入学され、新たなスタートが始まりました。



学部	
全科履修生	56名
選科履修生	100名
科目履修生	112名
<hr/>	
合計	268名

大学院	
修士選科生	11名
修士科目生	6名
<hr/>	
合計	17名



田中 未来
(心理と教育コース)

本日は、私達のために「入学者の集い」を開催いただきまして誠にありがとうございます。入学生を代表し、心よりお礼申し上げます。

私は3年半ほど前に大学を中退し、独立行政法人で働き始めましたが、「知的好奇心が満たされない」状態を自覚し続けていました。そんな中、ふとやり残したことがあると思い立ちました。それは、大学を卒業することです。仕事では満たされない知的好奇心と、取得したまま眠っている単位が後押しとなり、放送大学へ入学することを決めました。

コース選択にあたっては、大学とは全く異なる分野である「心理と教育コース」を選びました。理由としては、先述した知的好奇心はもちろんですが、加えて、個性的な私自身と夫をより広範に理解・解釈することができると思ったためです。

入学生一同、入学後の学びをとっても楽しみにしております。茨城学習センターの教職員の皆様におかれましては、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。この度は、立場や年齢、職業や性別、さらには学びへの目的や理由を問わず、学ぶことのできる環境をいただきましたことを深く感謝申し上げ、挨拶の言葉とさせていただきます。

茨城学友同窓会

会長 矢野 正義



長引くコロナ禍ですが、在学生の皆様には学業やゼミ・サークルの活動に苦慮しながらも取り組まれておられることと推察致します。茨城学友同窓会もここ2年あまりコロナ禍の影響を受け開店休業状態が続いております。私どもの活動は茨城学習センターのご指導・ご支援のもと共催的に拘わらせて頂く行事が多いのですが、これらが多く中止のやむなきに至りました。

皆様ご承知のように放送大学は卒業⇒再入学をされるいわゆるリピーターの方が沢山おられるわけですが、このような大学の同窓会(またその活動)は如何にあるべきかを常に意識し、その答えの一つが大学(センター)、学生(ゼミ・サークル)、同窓会の三位一体的な在り方である、と考え活動しております。コロナ禍という思いがけない事態に遭遇しましたが、上記の考え方をもち続けて、茨城学習センターに集う仲間としての絆を一層強めたいと思います。

2022年度はウイズコロナとしての諸活動の実行段階と位置づけ、これまでの知見や身につけたコロナ対策を行いながらの、以下の行事を計画致しました。教員・学生講演会(9/3、県立図書館)、ハイブリッド(対面+オンライン)方式によるオープンキャンパス・学園祭(10/16、茨城SCとWeb)、卒業研究・修士論文発表会(12/18、茨城SCとオンライン)などです。皆様には関心をもってご注目くださるようご案内致します。

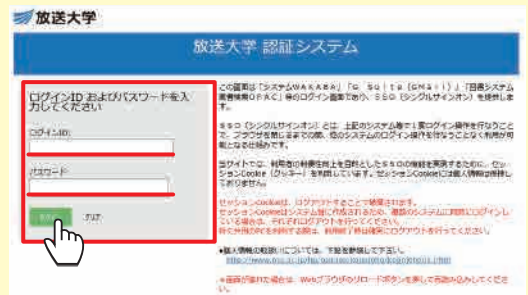
システム WAKABA の利用方法

システム WAKABA ログイン方法

- 1 放送大学ホームページ
> 在学生 (WAKABA)
> システム WAKABA (新教務情報システム)
> [ログイン] をクリック



- 2 ログインID、パスワードを入力し
[ログイン] をクリック



ログインID及びパスワードは
入学許可証に記載されています

システム WAKABA では、大きく分けて
3つの「タブ」で構成されており、利用
できる機能も大まかにこの「タブ」で区分
されています。「タブ」をクリックする
ことで利用できる機能が切り替わります。

- 学生カルテ
> 学籍情報、住所、履修情報、
単位修得情報等を確認できます
- 変更・異動手続
> 住所変更や所属コース・学習センターの
変更、休学・復学の申請等が可能です

学内リンクにて外部システムや
ホームページへ遷移できます

- Web通信指導
- Web単位認定試験
- オンライン授業
- 放送授業のインターネット配信
- 過去の単位認定試験問題・解答等
- 面接授業（第1学期）のページ
- 面接授業（第2学期）のページ
- 新規開設科目印刷教材（試し読み）

詳細な『操作マニュアル』については、

「キャンパスライフ」タブ

→「附属施設・情報システム」をクリック

→「システム WAKABA 学生用マニュアル」にありますので、

困ったことがあった場合には、まずは『操作マニュアル』でご確認ください。

キャンパスメールをご確認ください

学生全員にメールアドレスが付与されています。本部と学習センターからの連絡を随時送付していますので定期的に確認してください。

メールアドレス **学生番号 (ハイフン除く) @campus.ouj.ac.jp**



今回は、コロナ禍でも対面を中心に積極的に活動しているゼミをピックアップしてご紹介します。

現在茨城学習センターでは、所長・客員教授・歴代の所長が多彩で多様なゼミを開講し、計14のゼミが充実した活動を展開しています。ゼミは単位の修得がない相互啓発型の授業形態です。学生発表等を取り入れ、各ゼミが、個性豊かに多岐にわたるテーマについて活発に議論し合っています。茨城学習センター所属の在学生であれば、無料で受講する事ができます。

詳しくは **茨城学習センターホームページ**
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/about/open.html> をご覧ください。

朝野ゼミ (英書輪読)

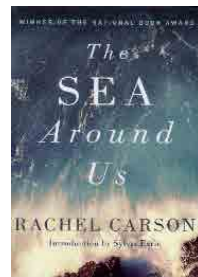
英語の真の意味を理解することの楽しさを希望する方への入会を大歓迎します。

朝野ゼミでは、著名な英書を時間をかけて読み込んでいます。速読や翻訳もので用を済ませるのではなく、原書に直接当たり、著者と対面して内容の理解に努めています。そのため時間は掛かりますが、それを厭いません。

現在取り組んでいる英書は、“RACHEL CARLSON: THE SEA AROUND US (1961)” で、The New Yorker 誌が3部作として1952年に掲載し、読者から熱狂的に受け入れられ、何度かの改訂を経て現在も読み継がれている名著です。

本書は、“SILENT SPRING” (これは、朝野ゼミでは12年がかりで、2021年に読了しています。)の著者が、海の尽きない魅力と不思議さを海洋学者の目で詩情豊かに語っている雄大な物語で、読み応えのある著書です。ゼミでは、“SILENT SPRING”の時と同様、朝野先生から懇切な解説を受け、ゼミ生が調査した資料を交換し、自由な議論を交わしながら、先を急ぐことなく、楽しいひと時を過ごしています。

▶申し込みは、茨城学習センター事務室まで。(ゼミ生：情報コース 竹内孝)



小野寺ゼミ (古地図)

地図や水戸の町に興味のある方のご参加をお待ちします。

古地図ゼミは歴史地理学が専門の小野寺淳先生のご指導のもと「城下町水戸に残る武家地の痕跡をたどる」に続き、昨年度からは「城下町水戸における商家の変遷」をテーマに12名のゼミ生が町を歩いての調査活動を行っています。

調査を始める前に、茨城大学図書館所蔵の(町人地区絵図面)全7冊を写真に撮りました。その絵図面は江戸末期の下町(しもまち)の本町(下市の中心)地区に住む町人名が書かれた古地図です。令和の住宅地図と照合し、江戸時代から続く商家を探して訪問聞き取り調査をし、翌月には学習センターのゼミでまとめを行い、情報の共有をしています。コロナ禍の影響でアポイントが取りづらい中、下市の茶舗、和菓子店、うなぎ店、打刃物鍛冶店、旧荒物店、染工場、上市の提灯店などから貴重な話を聞くことができます。訪問した店から町に詳しい商店主を紹介されたこともあり、商店街のつながりに温かさが感じられています。近年、個人商店の閉店が続いているので、これからの訪問調査を急ぎたいところです。

『ブラタモリ水戸』の案内役をされた小野寺先生からは現地調査の途中で、町の説明をして下さることがあり、これまで気付かなかった水戸の町発見の楽しさもあります。

(ゼミ生：社会と産業コース 大内由美子)



茨城大学図書館にて旧水戸藩町人地図調査・撮影



水戸市本町下町聞き取り調査



水戸市城東 横山大観生誕地の調査

堀口ゼミ

皆さまのご参加をお待ちしています。

当ゼミは国内のみならず広く世界の「香り」に関する古今の文献の学習や実習をテーマにして活動しています。例えば、平安時代に盛んであった薫物文化を王朝物語から探ったり、江戸時代の水戸藩においては初代藩主頼房公が「香道」を実践されていた記録が残っており、幕末まで続けられた水戸藩の香道がどのようなものであったかなどを、古文献を読み解いて研究します。また海外に目を向けて、古代エジプトで香料やミイラの保存薬として使用されていた「没薬」の実物体験、東南アジアの寺院で使用されている「線香」、中央アジアで広く用いられている「乳香」、ヨーロッパの「香水」などの研究・体験を行ないます。

(ゼミ生：名誉学生/情報コース 山本廣泰)



第11回教員・学生講演会報告



9月3日(土)、茨城県立図書館の視聴覚ホールにおいて、茨城学習センターの教員と学生による「第11回教員・学生講演会」が開催されました。学生が培った知的蓄積を地域社会に向けて発信する場として2010年から始まった本講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としておりましたが、今年度は3年ぶりに開催される運びとなり、第11回目を迎えました。全科履修生の金子紀夫様が「失われた30年ー知的財産の周辺から」と題し、国力と密接な関係にある知財力の経緯と課題について講演され、放送大学茨城学習センター前所長の佐藤和夫先生は「エーリヒ・ケストナーとその時代〜二つの世界大戦を越えて〜」の題目で、ドイツの作家エーリヒ・ケストナーが生き抜いた時代と作品について丁寧に分かりやすく講演くださいました。佐藤和夫先生の講演は、今後、BSキャンパス ex(BS231ch)にて、「放送大学スペシャル講演」として放送される予定です。ご期待ください。

講演を終えて

全科履修生(情報コース) 金子 紀夫

知的財産は、資源に乏しい我が国にとり重要です。モノづくりから知恵づくりへのシフト、その輸出において特許は権利保護のために不可欠です。

しかし、その出願は中国、米国に抜かれ、しかも年々減少傾向にあります。また事業所の数で99%以上を占める中小企業の出願が伸び悩んでいます。

特許管理に30年以上携わるなかで、放送大学の学部・大学院で知財をテーマとする研究を行いました。

今回の講演会で、この問題点を多くの人と共有化し、解決を図る出発点としたいと考えています。ありがとうございました。



全科履修生(情報コース)
金子紀夫さん



講演題目「失われた30年ー知的財産の周辺から」



茨城学習センター前所長
佐藤和夫先生



講演題目「エーリヒ・ケストナーとその時代
〜二つの世界大戦を越えて〜」

最後にスペシャル講演が

茨城学習センター前所長 佐藤和夫

全国の学習センター所長会議がまだ幕張の本校で行われていた頃、制作部(放送番組を収録する部門)の部長から所長の任期最終年には講演の収録を行いますとの発言がありました。まだ任期半ばにも達していませんでしたので、軽く聞き流していました。

ところが退任間際の3月になって講演予定を連絡してほしいと、これまた退任間際の制作部長からメールがあったのです。そこで早速「教員・学生講演会」に割り込ませてもらいました。講演は学生時代から研究してきたエーリヒ・ケストナーについて語ることにしました。テーマが大きすぎて1時間弱では到底収まらず、最後はだいぶ駆け足になってしまいました。快く引き受けていただいた矢野学友同窓会長始め主催者の学生さんには深く感謝申し上げます。

学生論集『茨城 SC フォーラム』は、学生の研究論文、調査報告、技術問題などの解説、先生方や学生の随筆などを掲載することにより、茨城学習センターにおける知的交流の場を提供することを目的として、毎年3月に発行しています。つきましては、寄稿者を募集いたしますので奮ってご応募ください。「第11回教員・学生講演会」の内容も論文化され掲載予定ですので、どうぞ楽しみに。

◆募集期限:11月10日(木)まで

◆応募方法:「エントリー・シート」により応募する。(茨城学習センターHPよりダウンロードできます。)

◆投稿者の決定:11月中旬 原稿提出期限:12月27日(火)

◆提出先(郵送):〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1(茨城大学構内)
放送大学茨城学習センター『茨城 SC フォーラム係』行



放送大学

ライブラリー講演会

事前申込制
参加費不要

- 場所：茨城県立図書館 視聴覚ホール
- 時間：14：00～16：00

藤沢周平と外国文学

宇都宮大学名誉教授

鯨井 佑士

2022.11/19(土)

藤沢周平は時代小説の作家であることから、一般的には純日本的な作家と考えられています。しかし、彼の文学の原点はむしろ外国文学にあります。このことは、彼自身がエッセイなどで明言しているにもかかわらずあまり認識されておられません。彼が影響を受けた作品の中からカロッサの「ルーミア日記」とダビの「北ホテル」を例として取り上げ、この問題についてお話しする予定です。

発達障害児についての理解を深めましょう

2022.12/17(土)

放送大学茨城学習センター客員教授

水口 進

発達障害児には自閉症スペクトラム症 (ASD)、注意欠如多動症 (ADHD)、限局性学習症 (LD) が含まれます。視線が合わない。名前を呼んでも振り向かい、言葉がでない (あるいは増えない)、落ち着きがない、こだわりが強い。こうしたことを主訴に来談するのが発達障害児です。発達障害児をどのように理解し、どのようにかかわったらよいのか。これまでの発達心理臨床経験をふまえてお話しします。

高齢者虐待 現状と課題

2023.2/18(土)

放送大学茨城学習センター客員教授
茨城大学教育学部教授

瀧澤 利行

虐待はすべての世代、性別を問わず起こり得ます。社会で注目されているのは児童虐待ですが、お年寄りの虐待も社会に広く、深く広がっています。高齢者の虐待は気づきにくく、また社会的に大きな問題となりにくい傾向があります。高齢者虐待は施設でも在宅でも起りますが、その状況はさまざまです。この講演では、高齢者虐待の状況を知り、高齢者をケアしていくためにはどのような配慮が社会に必要なのかを考えていきましょう。

保険法と市民生活 一生命保険と相続を中心に一

2023.3/11(土)

放送大学教授 (社会と産業コース)

李 鳴

日本では、世界の9割が何らかの生命保険に加入しており、生命保険は市民生活に浸透しています。しかし、保険が相続とも深い関わりがあることは意外と知らないのではないかと思います。本講演では、①保険金受取人が単に「相続人」と指定された場合の解釈、②遺言による保険金受取人の変更を巡る諸問題、③保険金受取人が被保険者より先に死亡した場合の相続関係について、事例をもって保険法、民法等に基づいて説明します。

- 詳しくは、茨城学習センターのホームページまたはチラシをご覧ください。
- 講演日の約1か月前より受付を開始致しますので、お電話にて、放送大学茨城学習センターに直接お申し込み下さい。TEL：029-228-0683
- 2月と3月の講演会は、オンライン配信 (Zoom) も予定しています。ご希望の方は、お電話でのお申し込み後メールにてその旨お申し出ください。送付先Eメール：ibaraki-sc@ouj.ac.jp
- 新型コロナウイルス感染症の状況により、中止・変更となる場合があります。茨城学習センターのホームページで随時ご確認ください。



事務室からのお知らせ



『学生生活の栞』には、放送大学で学ぶにあたっての方法、留意事項、諸手続きをはじめ、学習センターの利用方法や課外活動等についての詳細が記載されています。学生生活を送るうえで疑問点が生じた時には、随時ご参照ください。

学生証の交付について

『学生生活の栞』学 部 p.18 ~
大学院 p.24 ~

学生証の交付は、茨城学習センターの**2階事務室窓口**で行っています。

- 10月に新規入学・再入学・継続入学された方
→入学許可書をご持参ください
- 有効期限切れとなった学生証をお持ちの在学生の方
→期限切れの学生証をご持参ください
(有効期限は 全科履修生：2年間
選科履修生：1年間
科目履修生：半年間 です)



顔写真が未登録の場合は学生証を発行することができませんので、システム WAKABA の「学生カルテ」から写真を登録するか、「学生生活の栞」巻末の「写真票」(学部：様式 11、大学院：様式 10)を本部学生課出願登録係(修士全科生・博士全科生は本部教務課大学院研究指導係)まで提出してください。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、できる限り郵送による交付をご利用ください。郵送での申請は、以下のものを同封して学習センターまで送付してください。

- ①郵送による学生証交付願 *茨城学習センター HP からダウンロードできます
→<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki>
- ②新入生：入学許可書または顔写真のある身分証明書の写し
在学生：有効期限の切れた学生証または顔写真のある身分証明書の写し
- ③返信用封筒(宛名記名、404円分の切手貼付) *簡易書留で返送します

証明書の発行について

『学生生活の栞』学 部 p.100 ~
大学院 p.92 ~

『学生生活の栞』巻末にある「諸証明書交付願」(学部：様式 9 または 10、大学院：様式 8 または 9)に必要事項を記入し、学習センター**事務室窓口**にて、手数料(1通につき 200円)を添えて申請してください。 *「諸証明書交付願」は、システム WAKABA からダウンロードできます。

郵送による申請

郵送での申請は、以下のものを同封して学習センターまで送付してください。

- ①諸証明書交付願
- ②手数料(1通につき 200円) *郵便局で必要な手数料分の「郵便定額小為替証書」を購入し同封または現金書留で現金を同封してご郵送ください。
- ③返信用封筒(長形 3号封筒 120mm×235mm に宛名明記、切手を貼付したもの)
返信用切手 証明書 1通→84円 2通→94円

※証明書の種類によって、発行に時間が掛かるものがあります。発行日数を考慮し、余裕を持って申請してください。

※現在教員免許状を持っている方で、上位または他教科等の教員免許状を申請する場合は、『教員免許状申請用証明書』と記入されている「諸証明書交付願」(学部：様式 10、大学院：様式 9)で申請してください。(「諸証明書交付願」の様式は 2種類ありますので、間違いのないよう注意してください)

※感染症防止の観点からできる限り郵送による交付をご利用ください。

学割証の発行について

『学生生活の栞』学 部 p.125 ~
大学院 p.115 ~

全科履修生及び修士全科生は、自宅から学習センターまたは大学本部に通学する場合や、面接授業を受講する場合等において、学生旅客運賃割引証(学割証等)の交付を受けることができます。学割証等発行願に必要な事項を記入し、学習センター事務室窓口にて申請してください。

※個人的な用務等の利用は認められませんのでご注意ください。

※教養学部卒業研究や大学院修士全科生が研究指導のため移動する場合等については、指導教員から指示(許可)があったことを示す書類が必要です。

通信指導の提出について

『学生生活の栞』学 部 p.65 ~
大学院 p.64 ~

提出期間(2022年度第2学期)

【郵 送】11月15日(火)～11月29日(火)本部必着

【インターネット】11月8日(火)10:00～11月29日(火)17:00

通信指導が未提出または不合格の方は、単位認定試験を受験できませんのでご注意ください。通信指導を提出すると、その添削結果と自習型解答・解説が12月末～1月上旬にそれぞれ別々に送られてきます。以下の未着期限までに届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111(総合受付))に連絡してください。

【未着期限】

自習型解答・解説 : 12月22日(木)
択一式科目(併用式科目の択一部分) : 1月6日(金)
記述式科目(併用式科目の記述部分) : 1月16日(月)

単位認定試験について

『学生生活の栞』学 部 p.68 ~
大学院 p.67 ~

【単位試験日程】

Web 受験方式 : 2023年1月17日(火)9:00～1月25日(水)17:00

※2022年度第2学期単位認定試験は、Web 受験方式により実施します。

(一部科目のみ郵送受験方式で実施します)

※1科目50分の制限時間があります。(郵送受験科目除く)

※「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。(郵送受験科目除く)

※Web 単位認定試験体験版を公開しています。試験開始前までに、必ず体験版を操作しておいて下さい。

●アクセス方法

システム WAKABA(<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>)に、ログインID・パスワードを入力してログイン→システム WAKABA の TOP 画面右側「学内リンク」から、「Web 単位認定試験」をクリック

※自宅での Web 受験が困難な方は、学習センターで受験することができます。ただし指定の試験日時に受験する必要があり、原則として「試験問題の閲覧」と「択一式の回答」は、学習センターのパソコンによりご自身で行っていただきます。(記述式の回答のみ回答用紙で行います)「郵送受験方式」の科目については、学習センターでの試験は実施しません。

【学習センター受験申請方法】

申請様式 : 学習センター受験申請書(印刷教材等に同封されています)

申請期間 : 2022年10月1日(土)～11月24日(木)《必着》

申請宛先 : 〒261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11 放送大学 学務部学務課 単位認定試験係 行

スケジュール

11月

- 5日(土) 大学院(博士後期)入試(第2次選考)(面接)
- 8日(火) 第2学期通信指導提出開始(~11/29)※Webによる提出の場合
- 12日(土) 大学院(修士全科)入試(第2次選考)(面接)
- 13日(日) 大学院(修士全科)入試(第2次選考)(面接)
- 15日(火) 第2学期通信指導提出開始(~11/29)※郵送による提出の場合
- 19日(土) ライブラリー講演会(鯨井 佑士 先生)
- 26日(土) 臨時閉所日(茨城大学推薦入試)
- 2023年度第1学期募集要項配布開始
- 2023年度第1学期出願受付開始(第1回)(~2/28)

12月

- 17日(土) ライブラリー講演会(水口 進 先生)
- 18日(日) 修士論文・卒業研究発表会(Web)
- 29日(木)~ 閉所日(年末年始休日)(~1/3)

1月

- 1日(日)~ 閉所日(年末年始休日)(~1/3)
- 10日(火) 臨時閉所日
- 14日(土) 臨時閉所日(大学入学共通テスト)
- 15日(日) 臨時閉所日(大学入学共通テスト)
- 中旬 通信指導結果返送・試験通知【受験票】
- 17日(火) 第2学期単位認定試験(~1/25)
- 28日(土) 臨時閉所日(大学入学共通テスト追試験)
- 29日(日) 臨時閉所日(大学入学共通テスト追試験)

2月

- 13日(月) 2023年度第1学期科目登録申請開始(~2/27)※郵送の場合
- 2023年度第1学期科目登録受付期間(~2/28)※Webの場合
- 18日(土) ライブラリー講演会(瀧澤 利行 先生)
- 25日(土) 臨時閉所日(茨城大学入試・前期)
- 26日(日) 臨時閉所日(茨城大学入試・前期)
- 28日(火) 2023年度第1学期入学出願受付終了【第1回】

3月

- 1日(水) 2023年度第1学期入学出願受付開始【第2回】(~3/14)
- 11日(土) ライブラリー講演会(李 鳴 先生)
- 12日(日) 臨時閉所日(茨城大学入試・後期)
- 22日(水) 臨時閉所日
- 25日(土) 学位記授与式(NHKホール)

学習センターからのお知らせ・変更は
茨城学習センターホームページに掲載しています。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>

随時ご確認ください

事務室窓口 開所時間

- 【火~日】 9:00 ~ 12:00
- 13:00 ~ 17:30
- 【単位認定試験期間中】
- 9:00 ~ 19:00

視聴学習・図書館 開所時間

- 【火~日】 9:30 ~ 12:00
- 13:00 ~ 17:00

※月曜日・祝日休み

